

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2072200690		
法人名	社会福祉法人依田窪福祉会		
事業所名	グループホーム和田		
所在地	長野県小県郡長和町和田1482-2		
自己評価作成日	令和 4年 2月 19日	評価結果市町村受理日	令和 5年 2月 22日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action=kouhyou_detail_022_kanistrue&ijigyooyoCd=2072200690-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	令和 4年 12月 7日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・4月に現在のグループホームに移転してきたが、環境の変化に混乱がないように配慮した。以前のような民家改修ではないが、居室を落ち着いて過ごす事ができるくらいの広さにした。全室ベッドの導入やバリアフリーなどご利用者が安全・快適に生活できるようになった。また、介護用リフトや入浴用リフトを導入し、ご利用者の身体への負担が少なくなったり、シャワー浴でしか対応できなかった方が浴槽にゆったりと浸かれるようになった。最期まで住み慣れた地域で生活していくうえで、身体状況に応じたケアができるようになった。

・ご利用者やご家族との信頼関係が築けるよう、職員が一人一人意識して関わりを持つ事ができる。少人数だからこそ、顔馴染みの関係を作り、ゆっくりと話を聞いたり、関わったりする時間を大切にしている。面会制限もさせてもらっているが、パーティーやカーテンなどをそろえてできるだけご家族との関りが絶えない様に支援している。

・季節感を大事にできるように、年間に行事をおこなっている。毎年同じパターンではなく、ご利用者も参加したり一緒に楽しみながら季節を感じて頂けるように工夫しており、ご利用者やご家族にも大変好評である。

・職員研修において、今年度は感染症対策や災害時の事業継続計画が多く実施できた。来年度からは、地域の中で「認知症に特化した施設」として、アピールでき認知症についての相談窓口も設けていきたいと思っているので、「認知症対応型」の施設として、認知症研修に力をいれてく予定である。そのために、職員意識や日頃のサービスの質を高めていかれるようにしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

長和町和田地区の旧中山道の宿場町の風情が残る所にホームは位置している。開設から19年目を迎える当ホームは長年住み慣れた場所より令和3年4月に現在の場所に新築移転し1年9ヶ月が経過し、地域に親しまれ開かれたホームとして活動を続けている。新型コロナウイルス禍が長引き制約を受けながらの活動が続いているが、「地域の方の安心、安全な自立生活の支援…」を合言葉に利用者へ寄り添っている。家族の面会や外出等、新型コロナウイルスの感染を防ぐべく自粛状況が続いているが、利用者にストレスがたまることのないよう工夫を重ね、限られた条件の中で出来ることを探り日々の支援に繋げている。ホームが移転して共用部分が広がったことから以前に比べ全員で顔を合わせ一緒にいることが多くなりホーム全体の一体感が増しているという。ホールの中にソフタバレーのネットを張り、職員と共にソフタバレーを賑やかに体動かし体力の維持に繋げ、楽しんでる姿を写真に収め家族にお届けし喜ばれている。合わせてホームのすぐ近くに地域の公園があり、春の桜〜秋の紅葉まで、天気の良い日にはお弁当を用意し外に出て季節感を味わっている。また、10時のお茶の後はレクリエーションの時間を設け体操や大正琴を弾く職員の演奏に合わせて昭和の懐かしい歌を歌う等、楽しいひと時を過ごしている。新築移転オープンに合わせて地域との連携をより一層深め、更に親しまれるホームになろうと職員が力を合わせ取り組んでいる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			